

# 参考資料6

## 点検すべき項目例

<p>《防災の視点》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>天井材、外壁等の非構造部材の落下防止</li> <li>書棚・家具等の壁・床への固定</li> <li>警報装置や情報機器等の作動</li> <li>避難経路・避難場所</li> <li>通学路にある災害発生条件(土砂災害、洪水など)</li> <li>遊具等の劣化 等</li> </ul>	<p>《交通安全の視点》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歩道や路側帯の整備状態</li> <li>車との側方間隔</li> <li>車の走行スピード</li> <li>右左折車両のある交差点</li> <li>見通しの悪い交差点</li> <li>沿道施設の出入口</li> <li>渋滞車両・駐車車両の存在 等</li> </ul>
<p>《防犯の視点》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不審者侵入防止用の設備</li> <li>警報装置、監視システム、通報機器等の作動</li> <li>避難経路の複数確保</li> <li>出入口の施錠状態</li> <li>通学路にある犯罪発生条件(死角、外灯の有無など) 等</li> </ul>	<p>《校内事故防止の視点》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>天井材、外壁等の非構造部材の落下防止</li> <li>体育館の床板等の建材・遊具等の劣化</li> <li>窓・バルコニーの手すり等の劣化</li> <li>防球ネット、バスケットゴール等の工作物・機器等の倒壊や落下等の防止</li> <li>エレベーター・防火シャッター等の作動確認</li> <li>駐輪場の駐輪方向と傾斜の関係や地面の凹凸等の確認 等</li> </ul>

## 安全点検の実施例

教職員により実施する安全点検における危険箇所の把握は、以下の方法を参考に計画的に実施しましょう。安全点検等の実施時期、対象、担当、様式を整理しておきましょう。異常を発見した場合には、様式への記入に加えて写真や簡単な図等を追加しておくことなども情報共有・経過観察の際に有効な手段となります。

点検	点検時期・対象	責任者	使用する様式
定期点検	校内施設・設備 校内の避難経路・避難場所 *毎月実施対象:上記の箇所等 *每学期実施対象:非構造部材の劣化状況等	〇〇	安全点検表*1 (教室等、プール、運動場・校地、遊具等、避難経路・避難場所など) →安全点検集計表で集計
	家具の耐震性の点検 *年1回実施	〇〇	*1安全点検表を活用したり、別に作成したりしている点検表
	校地周辺・通学路 校外の避難経路・避難場所 *全て每学期実施対象	〇〇	校区マップ
臨時点検	学校行事前後 (校内施設・設備)	〇〇	*1安全点検表を活用したり、別に作成したりしている点検表
	災害時(校内施設・設備)	〇〇	*1安全点検表を活用したり、別に作成したりしている点検表
日常点検	通常の授業日(授業で使用する施設・設備)	全教職員	

学校の「危機管理マニュアル」等の評価・見直しガイドライン(文部科学省)に一部加筆して作成

学校施設・設備のうち、非構造部材の点検については、所管されている教育委員会が策定した点検方針及び点検実施計画等に基づき実施する。実際の点検の際には、文部科学省「学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック」を参考に、耐震点検を実施しましょう。

文部科学省「学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック(平成27年3月改訂版)」

<https://www.nier.go.jp/shisetsu/pdf/gijyutsu2.pdf>

